

株主
通信

2010年5月期

2009年5月21日～2010年5月20日

ktk ケイティケイ 株式会社
Total Business Support
証券コード ● 3035

地球との共存を目指し、
お客様との共栄を願う。



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

まずはじめに、当期（2010年5月期）業績についてお聞かせいただけますでしょうか？

世界同時不況に伴うデフレ経済下にあり、当社グループを取り巻く経営環境は、企業収益の悪化による消耗品の買い控えに伴い使用量が低下傾向にあります。この経済環境のもと、連結売上高8,983百万円（前期比5.6%減）、連結営業利益184百万円（同51.2%増）、連結経常利益173百万円（同49.8%増）、連結当期純利益94百万円（同61.2%増）となりました。また、はっするネットのWeb受注率も直近（2010年5月度）では46.8%と順調に推移し、受注の効率も向上いたしました。

当期1年の取組についてお聞かせいただけますでしょうか？

まず、営業力の徹底化を図るため、東日本・中日本・西日本の3大都市を中心に3営業部体制を敷き、各営業部の責任者に執行役員を新たに配置いたしました。また、拡大の中心である関東地区に更なる市場拡大を担う特販グループを設置し、大型販売店、官公庁、大企業を主とした徹底した販売サポート及びお客様へのサービス強化を図っております。

次に、収益力強化のため、自社製品であるリサイクルトナーカートリッジの生産を担う連結子会社の株式会社アイオーテクノ駒ヶ根工場の生産効率向上のため、生産態勢の抜本的な見直しを行い、その結果、前期に比べ1ヵ月あたりの生産本数が倍増いたしました。また、継続的な経費削減活動として、物流構造の改善の徹底による運賃及び荷造費の削減をし、営業拠点において車両維持費の削減・賃借料の削減等を行いました。

併せて、サポート体制の構築に力を入れました。「はっするネットコールセンター」ならびに「リパクトナーサポートセンター」については、幅広いお客様への顧客満足度向上のため、土曜日・祝日の休日も稼働開始となりました。

さらに、品質を優先した全社機能の確立を図るため、「品質保証推進本部」を設置し、リパクトナーの需要拡大と品質向上を目指しております。

最後に、コスモス・ベリーズ株式会社とBFC（ベリーズ・フレンド・チェーン）加盟契約*を締結し、新たに電化製品の品揃えを強化し、お客様満足度の向上を目指しております。

*加盟店の自主性が担保され業界No.1のYAMADAグループのスケールメリットを業界No.1のローコストで利用できる契約。

来期(2011年5月期)の見通しはいかがでしょう?

引き続き厳しい経営環境が続くと考えていますが、2011年5月期につきましては、①当社グループ収益の最大の柱である「リサイクルトナーカートリッジ」を中心とした高付加価値商品に集中した販売、生産効率アップ等による徹底したコストダウン、②「ケイティケイ はっするネット」のWeb受注率60%の達成による、お客様の購買管理の効率化への貢献と多方面商品の客単価のアップ、カスタマイズはっするネットによる大手新規顧客の獲得、③メールセキュリティに特化した「IT商品」の販売による、お客様への安心・信頼の提供および囲い込みを目指します。

以上により、2011年5月期における通期連結業績は、売上高9,280百万円、営業利益197百万円、経常利益186百万円、当期純利益99百万円を見込んでおります。

今後の成長プランについてお聞かせいただけますでしょうか?

当社は常にお客様のビジネスに先進的な付加価値を提供しお客様のお役に立ち、お客様にご満足をいただくことを目標としています。高収益型企業を目指し、連結経常利益率5%の確保と自己資本比率50%以上を目指しております。

そのためには、チーム力にてコスト競争力、差別化戦略、集中化戦略を徹底することにより、目標の達成を目指します。具体的な戦略として、①リサイクルトナーで業界No.1を目指す、②「ケイティケイ はっするネット」で販売の拡充を目指す、③メールセキュリティ分野でトップクラスを目指す、の3本柱の構築ならびに強化をすることと考えています。

併せて、当社が激動の時代を乗り切り継続した成長を続けるために「変動に強い企業構造への変革」と「飛躍のための仕込み」の戦略を継続的にスピードをもって展開する必要があり、設立40周年を迎えるにあたり、今期1年特に将来を担う人材育成を含む基盤作りの年と考えています。

最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

株主の皆様への還元方針は、当該年度、新年度ともに年間14円の安定配当を見込んでおります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。



代表取締役社長

伊藤 主計

— 私達は、お客様にご満足いただくため、
質の高い業務を心がけています —



電話、FAX、WEB、Eメール
などマルチチャネル化する
顧客ニーズに対応するた
め、専用システムを導入
し、質の高いサービスを
提供します。

お客様総合受付センターの業務



- **インバウンドコール**
はっするネットをはじめとする各種お問い合わせ対応
- **アウトバウンドコール**
各種商品及びサービスのご案内
- **FAX受注処理対応**
- **はっするネット及びEメールによる各種お問い合わせ対応**

営業時間

平日・土曜日・祝日
受付時間／9：00～17：00

電話番号

0120-452-846

“お客様総合受付センター”

“お客様の声”が私達の大きな“財産”です。



センター長
見田妙

この仕事をしていて良かったと思ったことは？

センターが立ちあがって10ヶ月目、初めて迎える仕事納めの日のことです。何気なく、お客様からのご質問に対する回答の末尾に、1年のご愛顧のお礼を付け加えメールを送信しました。するとすぐに、そのお客様から「来年もよろしく」と返信メールを頂戴しました。何気ないことではありますが、その時私はお客様と心が通じたようなそんな瞬間

を感じました。この喜びと感謝の気持ちを忘れてはいけないと思って毎日を迎えています。

心がけていることは？

全ての対応に心をこめ、単に言葉を取り繕うのでなく、お客様がどんなことをご要望されているのか、常に心をこめて対応するようしています。

私達ではどうしてもお客様のご要望に応えられず、ただお詫び申し上げるしかない時も、形だけの言葉を並べるのではなく、真心をこめた誠意ある対応を心がけています。

どんなコールセンターにしていきたいですか？

私達は、電話、FAX、メールという所で対応させていただいており、直接お客様のお顔を拝見できない分、心をこめて、お客様の方をまっすぐ見られるコールセンターでありたいと思っています。



大藪いづみ

この仕事をしていて良かったと思ったことは？

ある時、「何度使っても思うように使用できないけどどうなってるの!不良品じゃない!!」と、マグネット商品のクレームを受けたことがありました。

電話がかかってきた時は、お客様が大変ご立腹さ

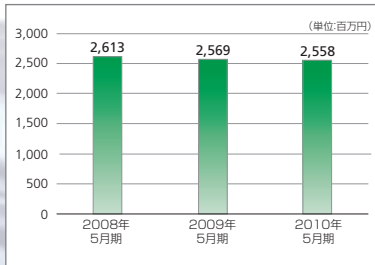
れており私はただただお客様の話に耳を傾け、謝罪することしかできませんでした。何分か経過した頃には、お客様も落ち着き、最後「ありがとう。」と言って電話を切っていかれました。「ありがとう」というお言葉をいただけるとは思っていなかったため本当に嬉しく感じました。

心がけていることは？

新システムが導入されたばかりの頃は、システムに慣れず、お客様にご迷惑をかけ謝罪することもありましたが、今では“何日にどのような問合せを誰が受けたのか”一目で分かるようになり、お客様への返答もスムーズに対応できるようになりました。

今後もぜひ利用したいと思っていただけるような対応を心がけていきます。

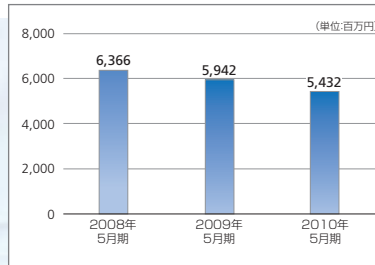
リサイクル商品



主力商品であるリパクトナーの販売数量は、前期比13.4%増加しましたが、販売単価の下落で、売上高は減少いたしました。

この結果、当商品群の売上高は2,558百万円（前期比0.4%減）と減収となりました。

OAサプライ商品

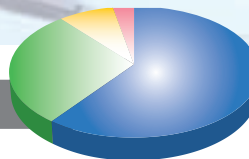


新品トナーカートリッジの売上高が減少したことで、当社グループの業績に大きく影響いたしました。

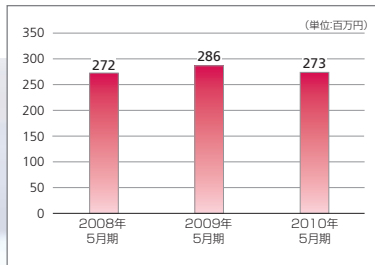
また、紙製品においてはPPC用紙及びオーダー用紙、ロールペーパーの販売量が落ち込み、売上高が減少いたしました。

この結果、当商品群の売上高は5,432百万円（前期比8.6%減）と減収となりました。

品目別売上高構成比率



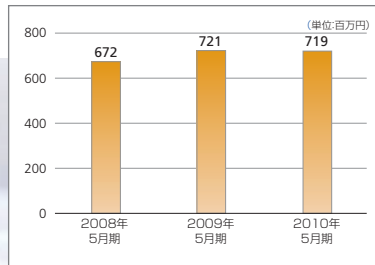
IT商品



IT商品は、企業のセキュリティ関連の投資抑制を受け、電子署名付加サーバ及びメール暗号化サーバソフトウェア(SPIS-BOXシリーズ)をはじめとし、ASP総合サービス「@Securemail」といったメールセキュリティ関連商品の売上高が減少いたしました。

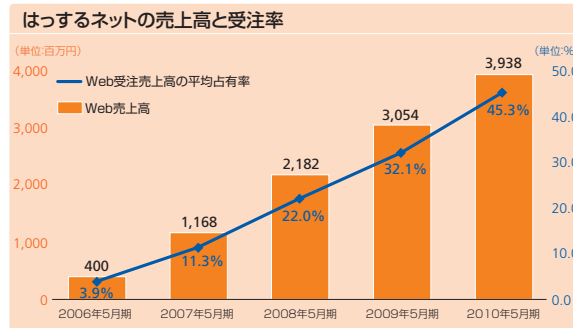
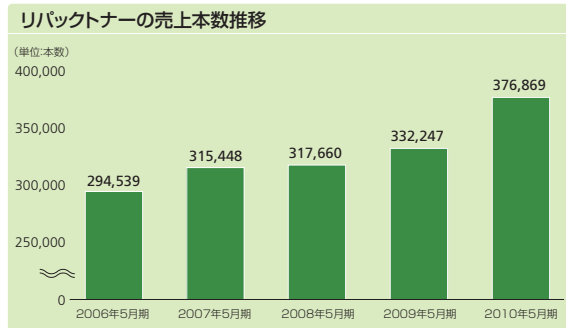
この結果、当商品群の売上高は273百万円（前期比4.7%減）と減収となりました。

その他

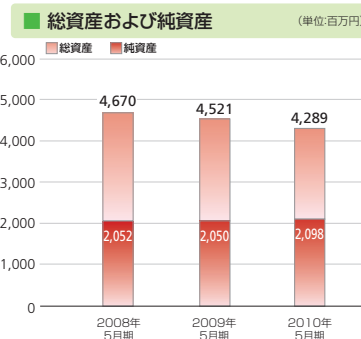
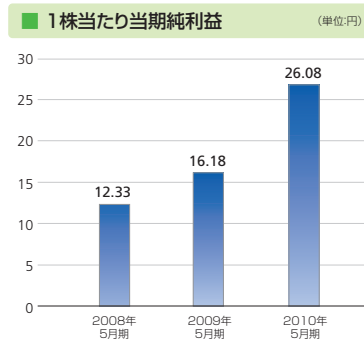
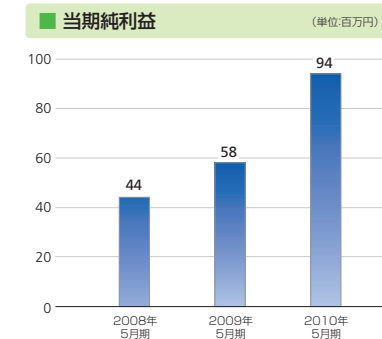
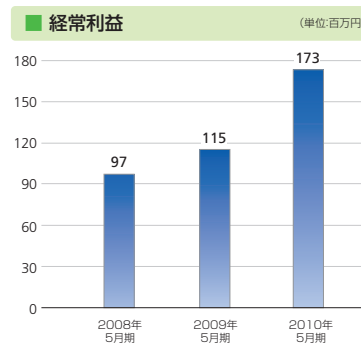
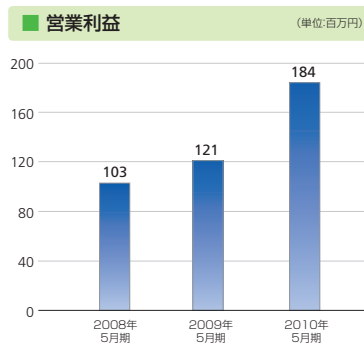
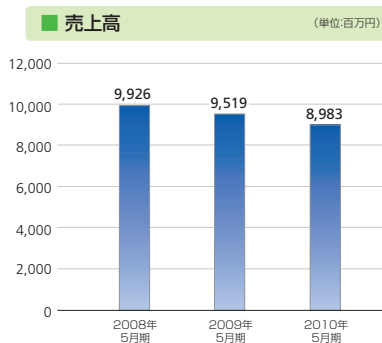


「ケイティケイ はつるネット」の導入件数増加により一般事務関連などの売上高は増加いたしました。また、企業の収益改善策によるオフィス家具やノベルティ等の案件の減少や先送りにより、売上高が減少いたしました。

この結果、当商品群の売上高は719百万円（前期比0.3%減）と減収となりました。



連結財務ハイライト



連結貸借対照表			(単位：千円)
科 目	当 期 2010年5月20日	前 期 2009年5月20日	
資産の部			
流動資産	2,632,169	2,569,307	
現金及び預金	995,937	883,212	
受取手形及び売掛金	1,388,411	1,419,280	
有価証券	20,945	20,914	
商品及び製品	125,412	183,282	
仕掛品	1,770	252	
原材料及び貯蔵品	43,562	44,760	
繰延税金資産	39,478	13,828	
その他	24,644	14,755	
貸倒引当金	△ 7,994	△ 10,980	
固定資産	1,657,819	1,952,550	
有形固定資産	1,151,276	1,155,467	
無形固定資産	144,406	181,106	
投資その他の資産	362,137	615,975	
資産合計	4,289,988	4,521,857	
負債の部			
流動負債	2,084,071	2,176,689	
支払手形及び買掛金	918,736	1,005,472	
短期借入金	805,772	818,422	
未払法人税等	15,112	20,072	
役員賞与引当金	8,700	-	
その他	335,751	332,721	
固定負債	107,215	294,632	
長期借入金	22,203	27,975	
役員退職慰労引当金	58,177	259,094	
繰延税金負債	18,951	1,085	
その他	7,883	6,478	
負債合計	2,191,287	2,471,322	
純資産の部			
株主資本	2,096,635	2,052,681	
資本金	294,675	294,675	
資本剰余金	259,675	259,675	
利益剰余金	1,563,169	1,519,215	
自己株式	△ 20,883	△ 20,883	
評価・換算差額等	2,066	△ 2,145	
純資産合計	2,098,701	2,050,535	
負債純資産合計	4,289,988	4,521,857	

連結損益計算書		
	(単位：千円)	
科目	当期 2009年5月21日～ 2010年5月20日	前期 2008年5月21日～ 2009年5月20日
売上高	① 8,983,741	9,519,701
売上原価	6,683,482	7,256,647
売上総利益	2,300,259	2,263,054
販売費及び一般管理費	2,116,059	2,141,236
営業利益	② 184,199	121,817
営業外収益	10,620	12,872
営業外費用	21,534	19,006
経常利益	② 173,285	115,683
特別利益	9,279	-
特別損失	8,657	2,706
税金等調整前当期純利益	173,907	112,977
法人税、住民税及び事業税	18,320	40,222
法人税等調整額	60,708	13,889
当期純利益	② 94,878	58,866

連結キャッシュ・フロー計算書		
	(単位：千円)	
科目	当期 2009年5月21日～ 2010年5月20日	前期 2008年5月21日～ 2009年5月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,256	256,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	150,953	△ 114,246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 69,608	△ 71,307
現金及び現金同等物の増減額	120,601	71,262
現金及び現金同等物の期首残高	734,127	662,865
現金及び現金同等物の期末残高	854,729	734,127

① 売上高

OAサプライ商品群のうち、新品トナーカートリッジを中心に紙製品のPPC用紙及びオーダー用紙、ロールペーパーの販売量が落ち込み、売上が減少いたしました。

② 営業利益/経常利益/当期純利益

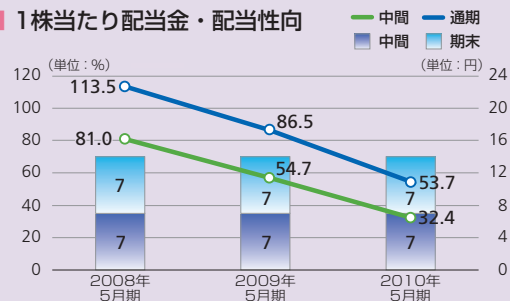
主力商品であるリパクトナーにおいて、生産のライン化による抜本的な生産態勢の見直しと、販売費及び一般管理費の削減、営業効率の向上により、前期と比較して営業利益は62百万円、経常利益は57百万円、当期純利益は36百万円の増益となりました。

株主還元について

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しております。

安定的な経営基盤の確保と自己資本利益率の向上に努めますとともに、配当につきましても安定的な配当の継続を基本とし、今後の事業展開を勘案した上で業績に対応した配当を行うことを基本方針としてまいります。

■ 1株当たり配当金・配当性向



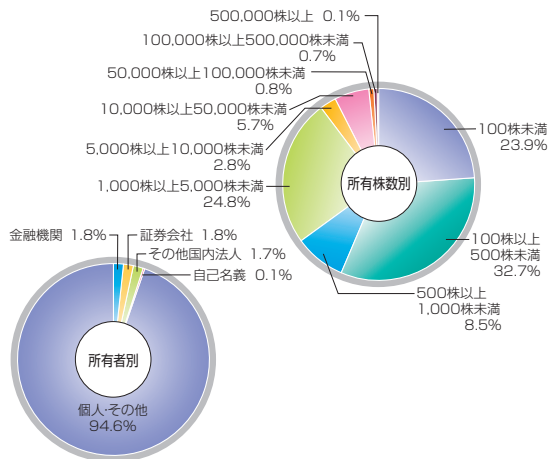
■ 株式の状況

発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式総数	3,675,000株
株主数	774名

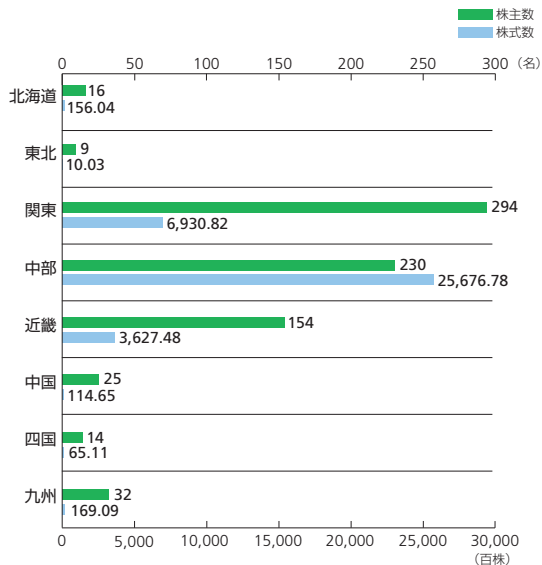
■ 大株主（上位10名）

株主名	持株数(株)
加藤道明	870,200
名古屋中小企業投資育成株式会社	400,000
伊藤主計	200,000
村木文恵	108,000
加藤進策	104,300
厚東和寿	100,000
株式会社三菱東京UFJ銀行	90,000
株式会社中京銀行	75,000
明治安田生命保険相互会社	60,000
荒木一功	56,250

■ 所有者別・所有株数別分布状況



■ 地域別分布状況



■ 会社概要

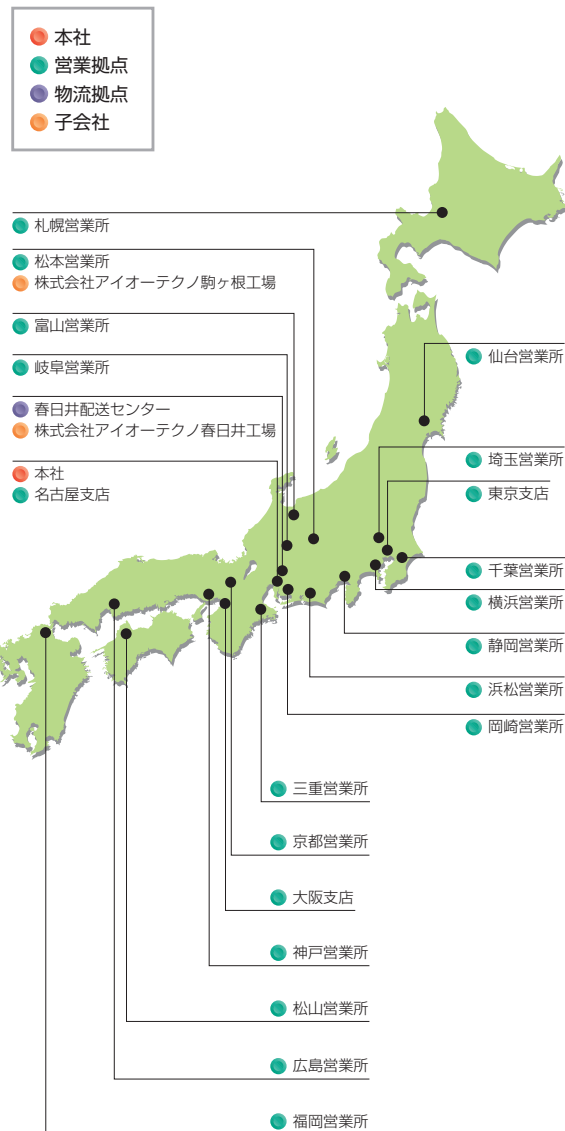
設立	1971年6月29日
資本金	2億9,467万円
従業員数 (連結)	251名 (注) 従業員数は、就業人数であり、使用人兼務役員 2名および嘱託社員・派遣社員・パートタイマー の期中平均雇用人数66名は含んでおりません。
事業内容	リサイクル商品、OAサプライ商品、 IT商品等のオフィス関連商品の販売

■ 取締役及び監査役 (2010年8月10日現在)

代表取締役社長	伊藤 主計
常務取締役	鈴木 克郎
常務取締役	木村 裕史
取締役	赤羽 聡
取締役	青山 英生
常勤監査役	高橋 省吾
監査役	林崎 正生
監査役	常盤 秀樹

■ 執行役員 (2010年8月10日現在)

執行役員	山吹 依生
執行役員	高見 征秀
執行役員	武田 和重
執行役員	長谷川裕樹



株主メモ

事業年度	毎年5月21日から 翌年5月20日まで
定時株主総会	毎年8月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年 5月20日 中間配当 毎年11月20日
単元株式数	100株
証券コード	3035
上場金融商品取引所	大阪証券取引所JASDAQ市場
公告方法	電子公告 http://www.ktk.gr.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務の取扱

株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) ※取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で 行っております。

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ケイティケイ 株式会社

〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目3番3号
TEL.052-931-1881(代表) FAX.052-932-5459
<http://www.ktk.gr.jp/>



この報告書は環境に配慮したFSC認証紙と植物油インキを使用しています。